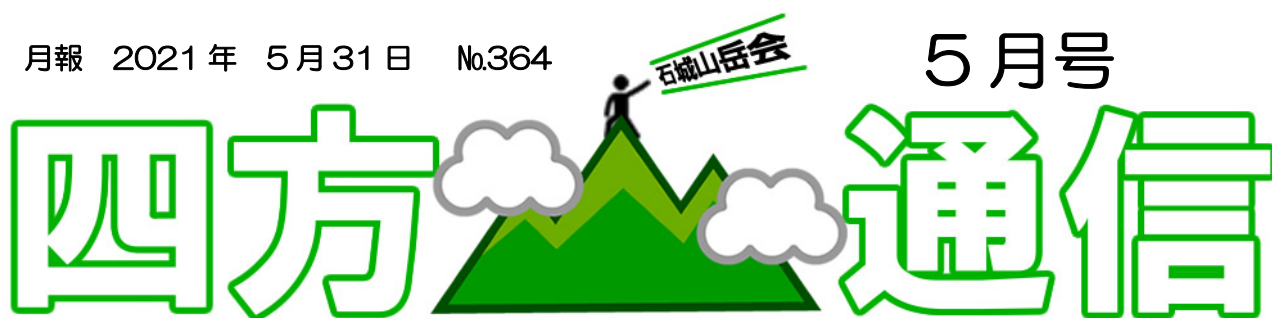


月報 2021 年 5 月 31 日 №364

5 月号



石城山岳会事務局編集

滝根町・羽山（970m）

那須沢山 1044.9m、権現岩 1036m

4 月月例山行「燧ヶ岳」

4 月月例山行2 会津駒ヶ岳

川内村・五社山（598m）

大鷹鳥谷山（794m）

見明山（みあかしやま）1161.4m

高倉山 1307.5m

花塚山（918m）

斎藤山 1278.3m

絶景でした燕岳

竜子山（921m）

5月登山教室 「額取山」

半田山（863m）

萬歳楽山（917m）

塩手山（282m）

大風川溪谷沢登り

滝根町・羽山（970m）

2021年5月2日（日） 太

「うつくしま百名山」改訂で、新たに百名山となった羽山に田村市滝根町から登った。

生涯学習・健康増進等の施設「田村市天地人大学」脇の橋を渡った突き当りを左折、400mほど舗装路を北に進んだ場所が、羽山登山口の入口である。駐車場はないが、そこまで行く間に道路が広い場所があるので、通行に邪魔にならずに駐車ができると思う。付近に公衆トイレはないので注意。

羽山登山口は、入口から奥へ、細い舗装農道を90mほど進み、案内板のところを左折した先の右側にある。登山口看板で右折し、畑を右に見ながら進むと杉林の山道になる。（これが正しいコース。当日は、迷って看板で右折せずに直進、丘を越えた先で右折して別の沢から尾根を藪こぎしてコースに乗った。）

山道は、両側が背丈ほどの笹になり、さらに登ると、未舗装林道（作業道）に出合う。両者は並行して進むので、林道を歩いたり、山道を歩いたりする。しばらく行くと、コースは林道の左土手を上がって杉林の奥へ続く。その先で学校林分岐を山頂方面に進むと、突然の雷雨。雨衣を着て先に進む。

四等三角点「西羽山」（729.66m）峰を巻いて進むと、杉林からケヤキが多い落葉林になっていく。急登もこなしながら、けやき沢、沼ノ平と進み、最後の急登後、すぐに山頂である。雷雨は止んでいた。

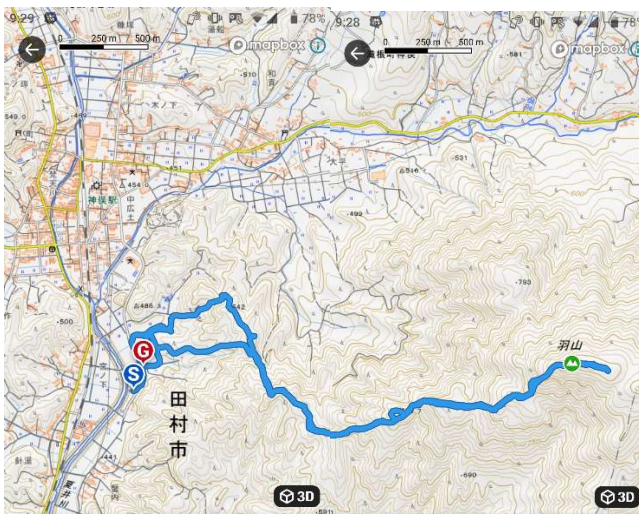
山頂は、三等三角点「羽山」（969.94m）標石の脇に、滝根町山の会の標柱がある。付近は、樹木に囲まれ、時おり矢大臣山や大滝根山が梢の先に視認できるが、見晴らしはない。三角点から200mほど進むと、「納斎羽山神社大山祇命」と記された石札の祀られた岩があった。祠はなかったが、これが山頂の羽山神社のようだ。

折り返し、下山途中に四等三角点峰に立ち寄りながら、さらなる雨に遭わず無事に下山した。

文責：太

タイム

12:15 登山口→13:10 学校林分岐→13:35 けやき沢→13:45 沼ノ平→14:00 羽山山頂
→14:05 羽山神社→14:15 羽山山頂→14:30 沼ノ平→14:40 けやき平
→14:50 三角点峰（点名「西羽山」）→15:00 学校林分岐→15:25 登山口



那須沢山 1044.9m、権現岩 1036m

5月3日（月） 渡辺敏夫

下郷町から田島にかけて、国道121号線沿いの会津百名山の山々を登ろうと出かけた。まずは一番西の北側に位置する那須沢山と権現岩を目指した。五月の連休の最初の間は天気が悪く、3日からは天気が良くなることを予想して2日の午後から出かけた。これらの山は別々に登るコースが紹介されているが、那須沢山から稜線伝いに権現岩に至るコースが紹介されていたので、那須沢山から稜線をたどって、権現岩を目指した。

前日に那須沢山登山口の赤土峠に到着し、車中泊して早朝、那須沢山を目指した。残念ながら天候は今一つ、晴れたり曇ったり、強風でときには雨が降り出すというあいにくの天気でした。那須沢山までは前日の雨で登山道がぬかるみ、急で滑りやすい。しかし、一時間もしないで那須沢山の山頂に到着した。山頂は三角点と標識があるが、藪が生い茂り見通しはきかない。権現岩へは笹藪をかき分けて稜線沿いを先へ進む。うっすらだが、ふみ跡が確認できる。稜線沿いをたどるのだが油断すると進む稜線を見誤って間違った方向に進んでしまう。主稜線から進む尾根が見えない時があると進路を間違える。GPSを確認しながら権現岩にたどり着いた。権現岩へは稜線から右折して、痩せ尾根をしばらく進んで到着した。山頂からは国道121号線沿いの下郷、田島の街並みと、向かいの斎藤山と那須連山とが見渡せる。帰りは来た道を慎重にたどり登山口へと下



赤土峠と那須沢山登山口



那須沢山二等三角点



権現岩山頂への痩せ尾根

山した。

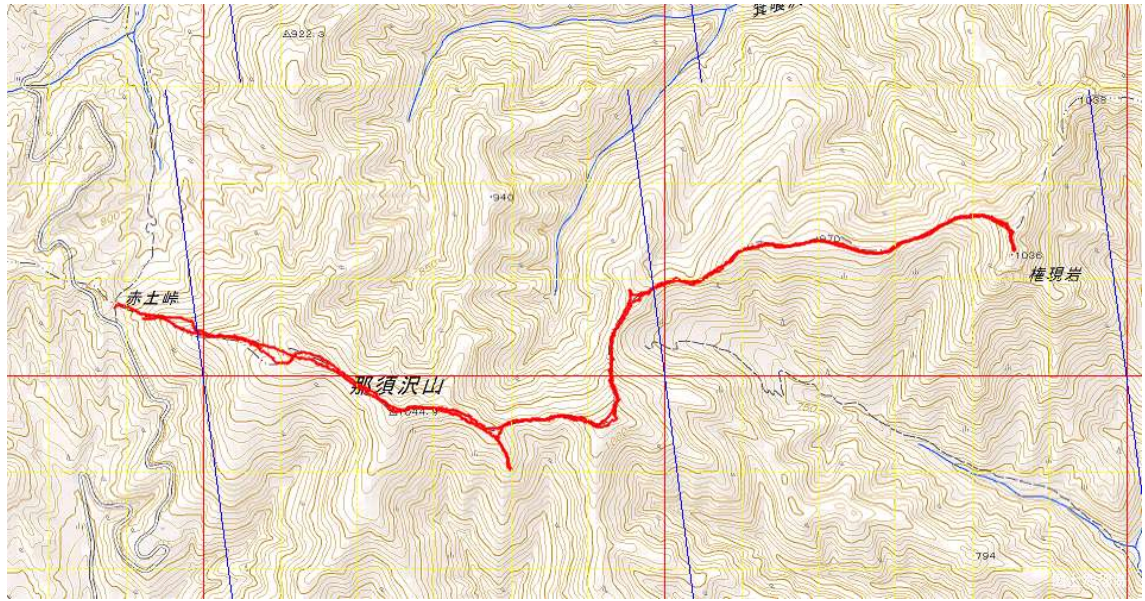
文責 渡辺敏夫

コースタイム

登山口 6:38→那須沢山 7:21→権現岩 9:32 9:38→那須沢山 11:46→12:35



権現岩山頂



4 月月例山行「燧ヶ岳」

2021 年 5 月 3 日(月)

参加者：下山田、秋葉、小林夫妻、猪狩、山中

当初 4/29～30 予定の 4 月月例山行は 29 日が全国的な雨予報のため、日程が 5/3～4 に変更になりました。そのためスケジュールが合わなくなり参加できなくなった方もでて最終的に 6 名の参加になりました。登りはじめの時間が早いため桧枝岐の道の駅駐車場やミニ尾瀬公園駐車場に各自前泊しました。また夕方から雨が降り出したためテント泊を予定していた人も車中泊になってしまいました。

5 月 3 日、昨日からの雨も上がっていてミニ尾瀬公園駐車場を出発しました。御池に近づくにしたがって道路脇の雪の量が増えてきました。天気は一時雪交じりになっていましたがなんとかやみました。御池駐車場の脇は雪山になっていて桧枝岐との標高差を感じました。それぞれスノーシューやスキーを装着して御池登山口から出発です。



最初は登り坂です。先客のトレースもいくつかありました。スキーチームとスノーシューチームと一緒に登ります。天気も日が差したり陰ったりでしたが穏やかでした。じりじりと高度を上げ樹林帯を抜けると熊沢田代です。視界が広い雪原は気持ち良く歩くことができました。次にまた樹林帯を登り、抜けるとこんどは広沢田代です。適度に休憩を取りながらどんどん登ります。樹林帯を抜けようやく俎ヶ下の開けた急登に到着、もう少しで俎ヶ頂上に行けると思った所で強風とアイスバーンのため安全を考え引き返すことになりました。ほっとした気持ちと残念な気持ちの両方で複雑な心境でした。

下りはスキー・スノボチームと徒歩チームです。引っ掛かりがある雪質でしたがスノボは気持ち良く滑っていました。スキーもやはり下りは楽です。樹林帯・雪原と登ったコースを戻りました。全員無事に御池駐車場に到着しました。お疲れ様でした。この後は燧の湯に入って疲れを癒してから反省会ですね！明日は会津駒ヶ岳です。

[タイム]

御池駐車場 7:45 → 熊沢田代 8:40 → 広沢田代 9:30 → 俎ヶ下 11:30 → 御池 13:45

(文責：山中)

4 月月例山行2 会津駒ヶ岳

2021 年 5 月 4 日

下山田、秋葉、猪狩、山中、小林(憲),(美)



月例山行2日目、今日は昨日と一転し朝から月が見える良い天気

先に野球場駐車場に移動した猪狩さんから、既に第1駐車場は満車との連絡があるも、ゆっくり準備して移動しました。幸いテニスコートが第2駐車場でこちらはまだ余裕がありました。

下山田会長と秋葉さんは先に出発しましたが、ゆっくり準備して我々も出発しました。



滝沢登山口への近道(その分急です)を通して、約40minで登山口到着(登山教室で行ったときはもっと近かったような気がしましたが)。昨日と違い今日は雪がありません。まず階段を登って登山道を進みます。登山口から50minくらいで休憩中の下山田さん、秋葉さんに追いつきました。ここで下山田さんとはBye-Byeし、少しずつ標高を上げ1,500mくらいから雪道になりアイゼン装着しました。



アイゼンを履いたとたん、今日も足が進みません。そうこうする内に水場に到着。秋葉さんよりホワイトアウトした時の下山時、黒木(針葉樹)とブナの交じりあったあたりが水場なので覚えておくと良いと教えて頂きました。ここからは針葉樹の林の中を進みますが、こんなに長かったかと思うほど終りが見えません。途中で昨日撤退した燧ヶ岳がきれいに見えましたが、目指す会津駒はまだまだ。

会津駒がようやく見え、夏道では木道のところも今日は一面の雪です。雪の斜面をなんとか登りきり、ようやく駒の小屋に到着しました。駒の小屋でビール、残念、売っていませんでした。

中食休憩後、会津駒の山頂へ。
雪のないシーズンは展望がありませんが、この時期は山頂標識

の頭が見えるくらい。360°の展望です。秋葉さんから見える山々の説明を受けましたが、後で写真を見ると？ただ、飯豊山は雲の上に浮かんでいるようでさすがにいつ見ても存在感がありました。

山頂で景色を楽しんだ後は下山です。途中から少し調子が出てきましたが、スキーの後をトラバースして行けば近道と進むとズリと滑落。ストックを突きさしてセーフ。最後にアイゼンを外してから核心部。慎重に下りていたのにズル。数メートル滑落。雪





の切れ目ので止まるかなと事前に見ていたとおり、木の枝につかまって何とか止まりました。ケガしなくて良かったです。

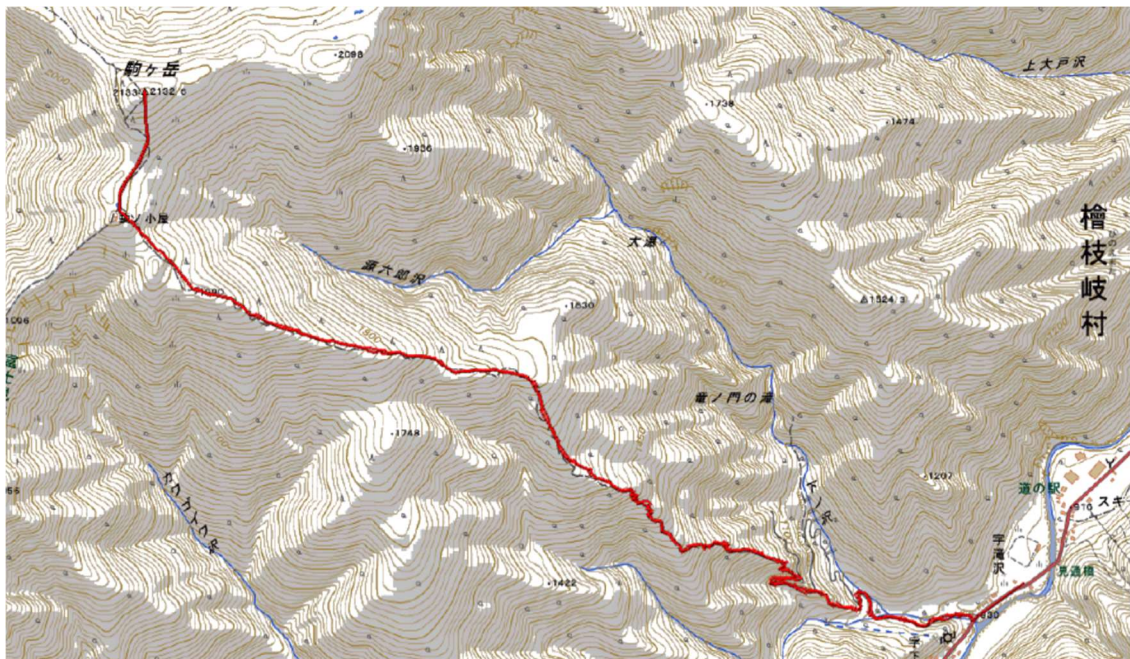
無事下山して、駐車場で解散となりました。

道の駅の山人家でソフトクリームを食べて（ギリギリセーフ）、いわきへの帰途につきました。

手を抜いて日焼け止めを塗らなかったので酷いことになりました。

この時期に行きたかった、燧ヶ岳、会津駒ヶ岳、少し残念なところはありませんでしたが2日間、楽しく過ごさせていただきました。ありがとうございました。

第2駐車場 7:00～(近道)～滝沢登山口 7:45～水場 9:55
～11:35 駒の小屋 12:00～12:20 会津駒ヶ岳 12:40～
12:50 駒の小屋 13:00～14:55 滝沢登山口～15:25 駐
車場 (文責 小林憲兒)



川内村・五社山（598m）

2021 年5月4日（火） 太

「うつくしま百名山」改訂で、新たに百名山となった、川内村の五社山に早渡登山口から登った。

国道 399 号で川内村に向かうと、市内小川町上小川内倉から中戸渡にかけては隘路で、急こう配、カーブ箇所も多いが、そこから先は存外立派な 2 車線道路である。

県道 36 号に入って「天山文庫」入口を過ぎ、道が小白井川に接近するあたりに早渡登山口がある。道と川の間に数台分のスペースはあるが、河川工事と道路工事の邪魔にならぬよう駐車する。付近に公衆トイレはない。登山道は川の対岸に続くが、仮設橋が建築現場の足場部材製なので注意して渡る。

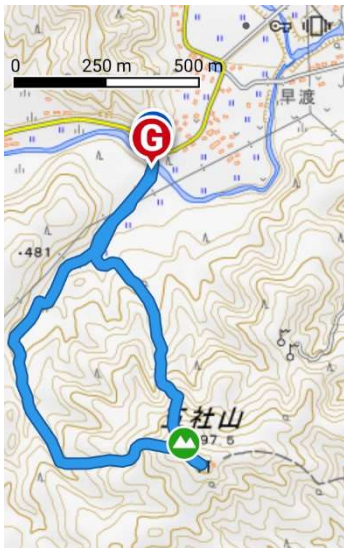
橋を渡って左折するのが登山コースなのだが、まっすぐな農道があったので、そちらを行けるところまで行く。その先は作業道で沢の奥へ進み、尾根に取りついてコース無視で登った。幸い北向き雑木林で藪が薄かったので、さほど苦勞せずに三角点（四等「五社山」597.50m）付近に到達。そこから南東に 100m 弱進んで岩場の上に出た。そこが山頂で、北東から北西にかけて見事な風景が広がる。標準電波送信所アンテナの立つ大鷹島谷山、風車の立つ桧山、レーダーのある大滝根山、風車の万太郎山周辺。

しばし景色を楽しんだ後、三角点まで戻って、登ったときと異なる尾根をコース無視で下った。山には藪はないが、荒廃農地を横断するにはススキとタケで苦勞した。無事に最初の農道に出て車に戻った。

文責：太

タイム

14：00 登山口→14：40 三角点「五社山」→14：45 五社山山頂 14：50→15：20 登山口



大鷹鳥谷山（794m）

2021 年5月4日（火） 太

川内村の五社山に登った際、「川内いわなの里」に立ち寄り、おまけで大鷹鳥谷山に登った。

「川内いわなの里」付近にシバザクラ植栽地があり、その先が林道鷹鳥谷線で、登っていくと「おおたかどや山標準電波送信所」の管理道入口がある。

入口に施設案内板があり、敷地内立ち入りを禁ずる旨の表示がある。ゲートは施錠されているようだが、ゲート脇を人が通行している様子なので、舗装の管理道を歩くことにした。道端のタラの芽が摘まれていたので、住民が山菜取りなどで往来しているのだろう。

送信所施設には用がないので、地図を頼りに管理道の途中から山林に入り、頂上まで軽く藪こぎ。土塁を見つけ、それに沿って登ると、すぐに山頂。電話中継基地局らしい施設と、フェンスが二重に施された標準電波送信所アンテナのワイヤアンカー基礎があった。アンカー基礎の内側フェンスと外側フェンスとの間に標石が見え、その傍らにはお馴染みの白い見出し杭が立っていた。二等三角点「鷹鳥屋」793.43mだ。辺りはまったく眺望がないので、外側フェンスから三角点を写真に収め、土塁に沿って下り、ゲート前に戻った。

文責：太

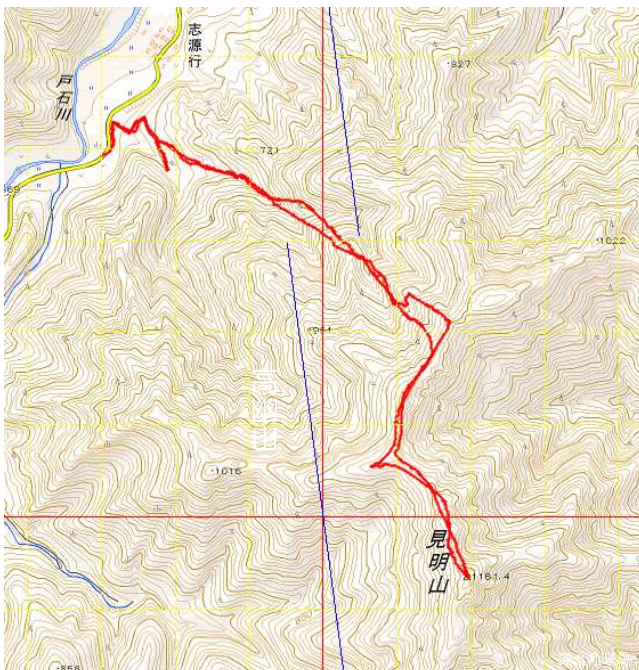
タイム

15：50 施設管理道入口→16：10 大鷹鳥谷山山頂→16：30 施設管理道入口



見明山（みあかしやま）1161.4m

5月4日（火） 渡辺敏夫



前日の那須沢山から下山してから、見明山の登山口である県道舟鼻下郷線の志源行バス停近くの空き地に車を止めて、下見をした。登山口はバス停近くの作業道から入れば、ふみ跡があり尾根へと続きそうだと確かめた。

翌日、確認した作業道からふみ跡をたどり進んだ。沢沿いに進んでゆくとふみ跡があり、そのあとをたどっていった。途中でふみ跡が不鮮明になり左側の尾根

に上がる予定であったが、陰しそうなので右側の斜面沿いに稜線へと進んだ。稜線にたどり着くとはっきりとしたふみ跡が稜線沿いに見明山まで続いているようで、その跡をたどって見明山山頂へ到着した。権現岩から見たと同じ、斎藤山と那須の山々が望むことができた。帰りは最初に予定していた尾根の下降点を確認めそこから尾根を下山した。登るときには確認できなかったが、この尾根沿いにふみ跡がはっきりついていた。前日の天気とは打って変わって、穏やかな晴天で登山道がない予定であったが、それなりにふみ跡がありそれほど困難なく、歩くことができた。

コースタイム

登山口 6:27→稜線 8:43→見明山 9:21

9:38→稜線から尾根へ 10:22→登山口

11:37

（5時間10分）

文責 渡辺敏夫

高倉山 1307.5m

5月4日（火） 渡辺敏夫



高倉山湧水



送電線の基部から小野岳を望む



高倉山山頂

大内宿を囲むように西側から取り巻く烏帽子岳、神籠岳、横山に続く高倉山がある。その一つの高倉山に登ろうと計画した。高倉山には登山道がないので、残雪期に計画するとよいが、南東方向に伸びる尾根から登るルートの無雪期の報告があったので、藪が茂る前の時期にこのルートから山頂へ行こうとした。午前中の見明山からの下山が、思ったより早かったので高倉山の登山口に移動した。この登山口は下野街道沿いにある高倉山湧水から疎林の中を出発した。登山道がないが、尾根沿いはつつじ類の低灌木がまばらに生えて、進むのにそれほど支障はなかった。途中に送電線の鉄塔があり、鉄塔からしばらくは登りやすかった。しかし、1075m 地点あたりは笹藪が現れ、さらに進むと密生した背の高いかつ太い笹藪に行く手を遮られる。笹藪は手前に傾いているので、登るのにはとても厄介だ。山頂近くで笹藪と格闘していると、なにやら変な物音が聞こえる。振り向くと数メートル先にクマが現れた。こちらがびっくりすると同時に、クマもびっくりしたらしく、すぐに退散してくれた。肝を冷やした。高倉山の山頂は密生した笹藪で覆われ、三角点を探すも見つからず、何の標識も見当たらない。GPSで山頂を確認して下山した。笹が下に向かって倒れているので、登るときより歩きやすい。何とか暗くなる前に下山できた。

文責 渡辺敏夫

コースタイム

高倉山湧水登山口 12:20→鉄塔 13:42→高倉山 15:57 16:03→鉄塔 17:25→登山口 18:09
(5時間49分)



花塚山（918m）

2021 年 5 月 5 日（水） 太・山縣・菊地・外 1

花塚の里、放鹿神社から、巨石・奇岩、眺望を楽しみながら、花塚山、北峰を登り、大きく周回。

国道 349 号で、川俣町、花塚の里に向かう。入口に駐車して公園を登って行くと、奥には放鹿神社。その前には、四阿、トイレ、案内図、登山ポストなどがある。登山口は神社に向かって右側。

登り始めると、いきなり急登で尾根に取りつく。行者戻しの岩、中央御室岩、屏風岩、胎内くぐり岩に出合いながら進み、稜線に出ると山頂分岐。稜線の岩を巻きながら山頂に向かうと、途中で富士見岩。案内板によると北限の富士を撮影したとのこと。そこまで行くと、山頂はすぐ先。標柱と山名板があり、三角点は二等で、点名は「巖部山」。川俣南部の山々ほか、日山、羽山を目の前にして、お茶休憩をした。

休憩後に分岐まで戻ると、すぐ先には護摩壇岩のある花塚台。こちらからは安達太良や東吾妻も眺められる。その四阿は壊れて使用不可。花塚台から北に下ると十字路（比曽堺）があり、これを直進して北峰に登る。北峰を下っていくと豎石分岐があり、豎石に向かわず峠の森自然公園の方向に直進、さらに下ると花塚の里分岐（2200m 徒歩 70 分の表示）があり、ここから戻ることにする。左折して何度も沢や尾根を巻きながら放鹿神社まで戻り、花塚の里の入口に下りた。

文責：太

タイム

8：05 花塚の里入口→8：15 放鹿神社（登山口）→8：45 行者戻しの岩→8：55 中央御室岩
→9：00 屏風岩・胎内くぐり岩→9：15 山頂分岐→9：25 富士見岩→9：30 花塚山山頂 9：55
→10：05 山頂分岐→10：10 護摩壇岩（花塚台）→10：20 十字路（比曽堺）→10：30 北峰
→10：35 豎石分岐（上）→10：50 花塚の里分岐→11：10 豎石分岐（下）→11：25 比曽堺分岐
→11：50 四阿→12：00 放鹿神社（登山口）→12：10 花塚の里入口



斎藤山 1278.3m

5月5日（水） 渡辺敏夫

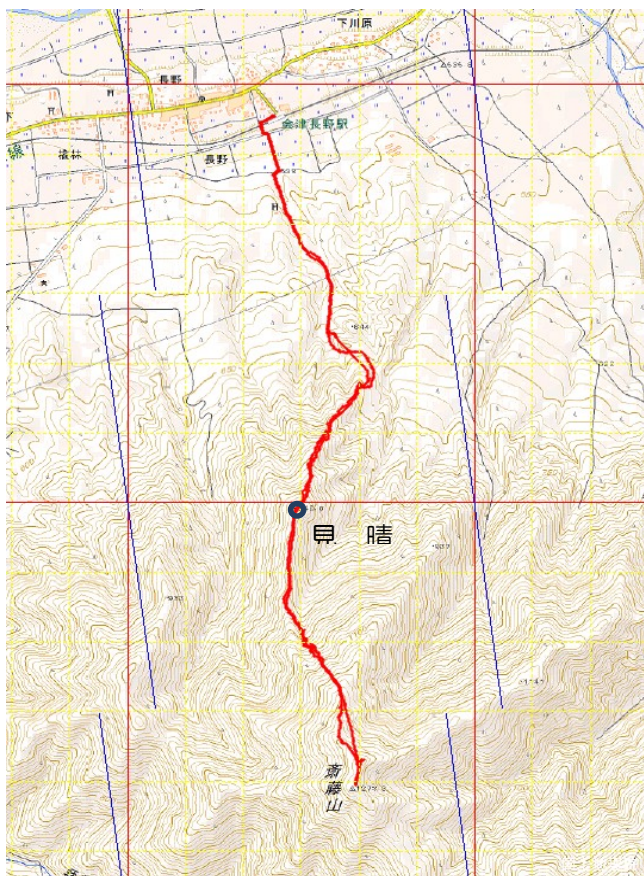
天候が悪くなる予想が出ていたが、5日午前中くらいは何とか天気もちそうな様子なので、斎藤山へ登ることにした。会津長野駅に車を止めてそこから歩き始めた。これまでの登山と違って、登山道はあるし道標もありとても歩きやすい。見晴らし台からはこれまで登った山々を見当たすことができた。そこからしばらく急な登りをしばらく続けると電波塔に到着。山頂はそこからしばらく進んだ所だ。山頂よりも手前のヘリポートからの方が見晴らしがいい。風をよけて電波塔の所で一息入れて下山した。登山口に近づくころ雨が降り出し、なんとか登山口には本降りになる前に到着した。

コースタイム

会津長野駅 6:46→見晴し台 8:03 8:09→斎藤山 9:06 9:10→見晴し台 10:04 10:06→会津長野駅 10:46

（4時間）

文責 渡辺敏夫



絶景でした燕岳

2021 年 5 月 6、7 日

小林憲児、美也子



GW に行ってみたかった残雪の燕岳へ

これまで燕山荘には 2 回予約してキャンセル。今年は、少し後ろめたい気もするが決行しました。

会津駒ヶ岳から帰った翌日、梓川 SA でまたまた車中泊。中房温泉へ移動し、ガスの中、天気予報を信じて登山口をスタートしました。

第 2 ベンチを過ぎると、上空には青空が テンション UP です。第 3 ベンチの少し下でアイゼンを装着しました。アイゼン歩行になると急に足取りが重くなりましたが、富士見ベンチでは富士山がクッキリ見えました。その後も足取りは重いものの、景色に励まされ合戦小屋から燕山荘に無事登り切りました。

燕山荘で生ビールで一息入れてから、まだまだ天気も良いので燕岳へ向かいました。

山頂からは 360° の展望で、大天井から常念の表銀座～槍～裏銀座の山々、立山、劔や白馬、雨飾・妙高・火打、ハヶ岳や南アルプスの甲斐駒から北岳、富士山と申し分のない絶景が楽しめました。

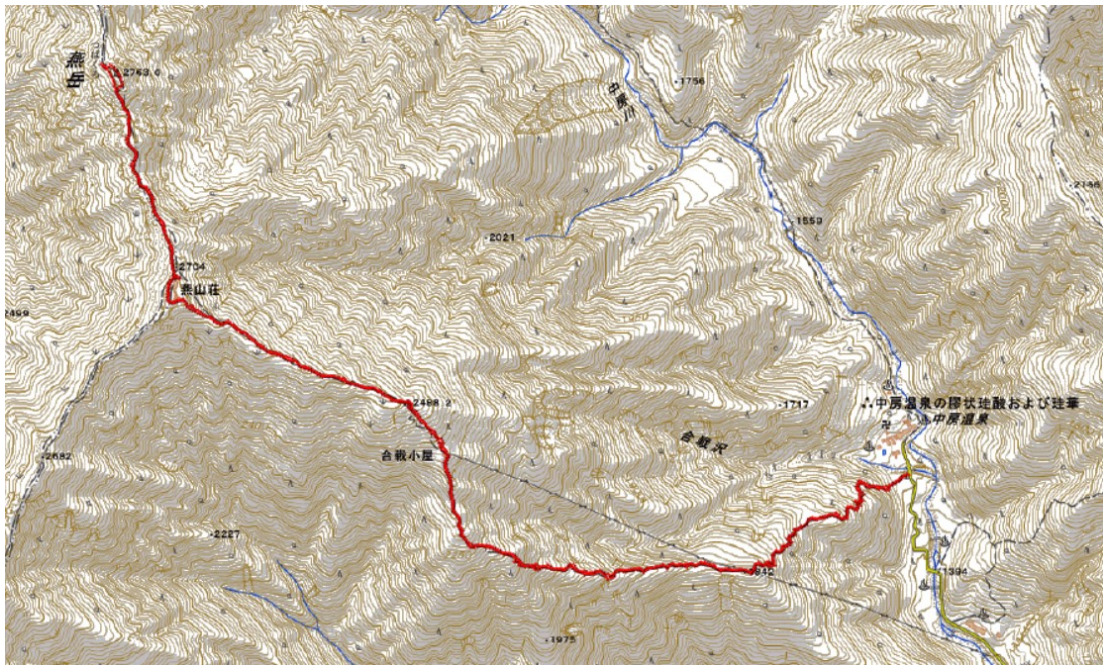
燕山荘の宿泊者は 40 名弱。今年百周年で、記念のバンダナを頂きました。

コロナ対策はバッチリ。カイコ棚のところでしたが、定員 4 名のところを二人で楽々でした。

残念ながら、夕日とご来光は望めませんでしたが、北アルプスの山々（白馬～劔～裏銀座～槍、穂高）、火打、妙高、高妻山～戸隠、黒姫、ハヶ岳、南アルプス、富士山も、と絶景を堪能し大満足の 2 日間でした

【1 日目】中房温泉登山口 7:55～8:40 第 1 ベンチ～9:10 第 2 ベンチ～10:10 第 3 ベンチ～11:00 富士見ベンチ～11:42 合戦小屋 12:05～12:30 合戦沢の頭～13:20 燕山荘 15:00～15:35 燕岳 15:55～16:30 燕山荘 【2 日目】燕山荘 7:10～7:40 合戦沢の頭～7:50 合戦小屋～9:40 第 2 ベンチ～10:30 登山口

(文責 小林憲児)



竜子山（921m）

2021年5月6日（木） 太

改訂で新たに「うつくしま百名山」となった竜子山を周回。巨岩に祀られる竜子姫神社を巡る。

県道 154 号を葛尾村方面に進み、船引町横道字風呂前、字日向前の西登山口を過ぎ、東登山口に到着。県道に面したごみ集積所の傍に、小さな登山口の表示がある。ごみ収集の邪魔にならぬよう駐車。

準備を整えて、民家脇を通り、畑地を抜けて杉林に入る。尾根の手前から左に登ると、ほぼまっすぐに落葉樹の尾根を進む。途中の分岐で左に折れ、竜子姫神社に立ち寄る。巨岩の奥まった場所に石祠があり、その前には榊のほか甘酒などが供えられていた。分岐に戻って引き続き頂上を目指すと小さな岩場があり、すぐに山頂。三等三角点「上移」920.46mがあり、それを跨ぐように「竜子山山頂 標高 921M」と書かれた山名板が設置されていた。山頂は、樹木で囲まれ、あまり見晴らしが良くない。

しばし休憩後に、南に進み、急激な坂を下りていくと、巨岩が点在する斜面になる。それらを巡るように下りていくと、巨岩のひとつに竜子姫神社の祠があった。祠の前の岩を慎重に過ぎ、さらに下ると、しだいに傾斜が緩くなり林道に出合う。林道を左に進んで下ると西登山口。いたずら心で林道を下らず荒廃農地を藪こぎしたが、無事に県道に出られた。県道を歩いて西登山口を過ぎ、東登山口まで戻った。

文責：太

タイム

9：35 東登山口→10：10 竜子姫神社（東）→10：40 竜子山山頂→11：10 竜子姫神社（西）→11：25 林道出合い→11：45 西登山口→12：00 東登山口



5月登山教室 「額取山」

2021年5月9日（日）

参加者：教室生 安部、山中、佐藤（春）、須藤、猪狩

山岳会 4名

“水石トンネル駐車場” 7時出発の予定が、事情により7時30分に2台の車に分乗し出発。また、縦走を計画していたが、参加者の減少によりピストンとなる。御霊櫃（ごれいびつ）入口よりヘアピンカーブ（ナビを見るとかなりのヘアピンカーブの多さ）の林道（舗装されているが、道幅が狭い）を御霊櫃峠まで入る。駐車場は乗用車20台くらい収容可能で、トイレもあった。

いよいよ、登山開始。入り口からガレ道を歩き「大将旗山」をめざす。振り返ると歩いた道筋が見えたり、西には猪苗代湖、東には郡山市街地などを望むことができた。とても展望が良い。

途中、あづま菊、おおたちつぼすみれなど可愛い花たちが顔をのぞかせてくれる。大将旗山山頂ではコンパスを使って次の目的地である進むべき「額取山」の方向を確かめる。



秋葉校長による色々なすみれの説明に足を止めながら、いつもよりゆっくりのペースで進む。

「額取山」は猪苗代湖と郡山市街地の間に位置し、古くから地元の人々に親しまれてきた歴史ある名山で、別名「安積山」とも呼ばれる、とのこと（なるほど。指導標には額取山と表記されているものと、安積山があった）頂上付近にくるとものすごい強風。360度の大パノラマを期待していたが、ゆっくり景色を見る状況ではなく風の当たらない場所に身を置き、昼食となる。

下山時には風はさらに強風化し、踏ん張っていても体がふらつき、地上では味わえない自然のすごさを体感する。途中、小雨模様となり、雨具を着用。初めて雨具を着用した時に比べると要領よく着用出来たかな？と思う。駐車場に着くまで小雨だったし、無事、下山でき良い山行でした。

6月上旬はツツジの花がみごと とのことなのでまた、訪れてみたいなと思いました。

水石トンネル駐車場（7：30 出発）→御霊櫃峠駐車場（8：55）（9：10）→ 大将旗山（10：15）
額取山（11：15）（11：45）→御霊櫃峠駐車場（13：45）→平田村道の駅→水石トンネル駐車場（15：55 到着）



（文責 猪狩由美）

半田山（863m）

2021年5月15日（土） 太・菅野・山縣・西

半田沼がハート型に見える季節だということで、半田山に登った。

萬歳楽山を下山後、半田山自然公園に立ち寄り、キャンプ場のシラネアオイ群生地を散策、鑑賞した。その後、車で沼の北側を通る南半田・赤坂林道から、産ヶ沢林道を上って林間駐車場（上部駐車場）に行く。この駐車場には10台以上駐車できそうだが、公衆トイレはない。トイレは、半田山自然公園南駐車場にある管理センターを使うとよい。

林間駐車場から山頂までは、急傾斜に一本道が続き、頂上まで400m地点から同100m地点まで、数か所のハートレイク・ビューのポイントがある。地図で見るとそうではないのだが、各ポイントに立って眺めると、半田沼がハート型に見える。おもしろい現象を楽しみながら、山頂まで登る。

山頂には石の祠が3つ並んでおり、一等三角点（「半田山」862.96m）石標の脇には山名標柱、ベンチが整備されている。山頂で軽い昼食、お茶で休憩し、来た道そのままに駐車場へと戻った。

文責：太

タイム

12:35 林間駐車場（上部駐車場）・四阿→12:55 頂上へ400m地点（ハートレイク・ビュー始まり）

→13:10 頂上へ100m地点（同終わり）→13:15 半田山山頂 13:55→14:15 林間駐車場・四阿



萬歳楽山（917m）

2021 年 5 月 15 日（土） 太・菅野・山縣・西

改訂で新たに「うつくしま百名山」となった萬歳楽山に登った。

東北道国見 IC から半田山自然公園の北駐車場から狭い舗装路を登っていく。麓の国見町や、伊達市の保原町、梁川町などが展望できる牧場に出ると、北口林道登山口である。

北口林道登山口は峠になっており、下ってすぐに北口林道駐車場。舗装された 5、6 台分の駐車枠、公衆トイレ、四阿がある。公衆トイレは水洗式、四阿にはテーブル・ベンチがあるので、登山準備をするには都合が良い。四阿脇の登山口から、水場分岐を経て北口林道登山口からのルートに合流できる。

合流すると、すぐに八畳岩・大日岩分岐。そちらに向かうと、比較的緩やかなアップダウンで山腹を進む。途中タムシバ、ツツジなどほか、季節の草花も見られた。巖洞岩、八畳岩と過ぎ、大日如来岩のある尾根まで来ると、徐々に傾斜がきつくなり、折り返しながら登ると三方境の分岐に出る。

まずは三角点（第 1 見晴台）に向かう。三等三角点（点名「万歳楽」898.41m）脇には、林野庁の「萬歳楽山」の標柱が立ち、単管パイプで組まれた見晴台がある。上ると、摺上川ダム、ダム湖「茂庭っ湖」が見える。遠くは朝日連峰、吾妻連峰、安達太良山などが望める。見晴台の奥には石仏（弘法大師像？）が祀られ、手前にはテーブルとベンチもあった。しばしお茶休憩の後、最高点（第 2 見晴台）に向かう。こちらが山頂（917m）と云われる。第 1 見晴台よりも高くパイプで組まれた台があり、「萬歳楽山頂」の木札がぶら下がっている。上ると、阿武隈高地が望めた。

下山は、傾斜のきつい場所を折り返しながら茂庭分岐まで下り、少し登り返して下ると、最初の八畳岩・大日岩分岐。そこから登って来た道を下り、駐車場まで戻った。

文責：太

タイム

9：15 北口林道駐車場→9：40 巖洞岩→9：55 八畳岩→10：05 大日如来岩→10：15 三方境
→10：25 萬歳楽山三角点（第 1 見晴台）10：55→→11：10 萬歳楽山最高点（第 2 見晴台）
→11：25 茂庭分岐→11：35 北口林道駐車場



塩手山（282m）

2021年5月25日（火） 太

改訂で新たに「うつくしま百名山」となった塩手山を周回。相馬、松川浦の向こう太平洋を望む。

相馬市山上字オノ神沢にある駐車場に、午前10時過ぎに到着。「登山道入口駐車場」と書かれた小さな案内板があるが、本来は向かい側にある墓地の駐車場なのだろう。トイレはない。

駐車場から登山口まで、小さな案内板があるので、迷うことなく登山口案内図のある登山口まで行ける。サクラが植わった場所を過ぎると杉林の中を歩く。手長コースとカタクリコースとの分岐には、「右手長神社道」と刻まれた石柱があり、小さな案内板もある。蒸し暑かったので、距離が長くとも、急登が短いカタクリコースを選択。道は主に杉林の中、沢を巻きながら進むが、途中で2か所ほど崩落箇所があり、高巻きたり、端を歩いたりする。最後の急斜面を登ると尾根に出て、南嶺の山頂はすぐ。

南嶺には三等三角点（点名「山神」281.49m）と、山頂案内板がある。海側に展望が開けており、相馬市街地、松川浦、その先太平洋が望める。景色を楽しみながら、しばし休憩して、北嶺に向かう。

北嶺には手長神社の木の祠があり、その後ろには山頂案内板と、塩手山トンネルの案内板がある。東北中央道の塩手山トンネルが北嶺の真下にあるのだという。祠の前からは急こう配の手長コースで、尾根を分岐まで一気に下る。分岐からは来た道をそのままに駐車場へ戻った。

文責：太

タイム

10:15 登山道入口駐車場→10:20 登山口（登山道案内図）→10:30 手長・カタクリコース分岐

→10:55 カタクリコース尾根→11:00 南嶺山頂（三角点）11:20→11:25 北峰山頂（手長神社）

→11:40 手長・カタクリコース分岐→11:50 登山口（登山道案内図）→11:55 登山道入口駐車場



大風川溪谷沢登り

2021年5月30日(日)

参加者：下山田、秋葉、小林、栗崎（透）、栗崎（容）、佐藤（幸）、野木、草野、山中

入遠野川から支流の大風川溪谷を沢登りしました。4月の教室山行の背戸峨廊では長靴を履いて参加しましたが、今回は沢シューズ履いてトライしました。

遠野オートキャンプ場から入遠野ダム手前約1.5kmまでは車2台で分乗して向い、そこから始まりです。二人が長靴以外は全員沢シューズを履いて出発です。最初は林道を歩きます。15分ほど歩いたところでNさんの沢シューズ片足の側面が剥がれてしまいました。テープを巻いて応急処置をしてとりあえず様子を見ることになりました。入遠野ダムから大滝橋を過ぎたところで林道を降りました。ロープを使っての下りです。練習のため用意している人はATCを使って下降しました。



ここからいよいよ沢歩きです。沢シューズを履いての川歩き初体験です！川の石に登っても滑りにくいです。気兼ねなく川に入れます。思ったほど水温が気になりません。しばらくは浅瀬を歩きましたが長靴チームにとってはいよいよ限界になってきました。Yさんはご主人におんぶしてもらいなんとかこの場をしのいでいました。日差しが木々の間から差し込む中を気持ちよく歩きました。またナツさんのシューズがトラブルです。かかと部分が剥がれてしまいました。今度は予備シューズを借りて履き替えました。



入遠野川から溪谷分岐にある「落合の滝」まで来ました。ここから大風川溪谷に入ります。全長が2.6kmのトレッキングコースとして整備されていましたが、東日本大震災の影響で全面通行禁止になりそれからコースが荒れて橋が落ちていたり遊歩道が藪になっていたりとしています。しかし木々が生い茂り、大小さまざまな岩や石が露出して、滝が流れる自然満載の溪谷です。溪谷の中ほどの「犬戻しの滝」では、本来あるはずの橋が架かっておらず水流が強く足場が悪い中での渡渉や木道が朽ちの岩に残る細い支えしか無いところの歩きなどスリルがありそれもまた楽しめました。溪谷の終点は古殿町になります。楽しくスリルがあった沢登りが終わり、ここからは車が置いてあるところまで林道を歩きます。途中休憩を入れて約2時間半あるきました。長かった！でも、沢登り楽しかった！！



参加者の皆様ありがとうございました。沢登りという楽しみがまた増えました。次回は背戸峨廊の滝登りにチャレンジしてみたいです。またよろしくお願いいたします。

[タイム]

林道車置場8:30→大滝橋9:00→大風川溪谷分岐10:30→犬戻しの滝11:30→上流入口13:30→林道車置場16:30

(文責：山中)

